

〔No.17〕 電子制御式 AT のライン・プレッシャ制御に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) R レンジでは減速比が大きいため、動力伝達容量を増大させるために D、2、1 レンジよりライン・プレッシャを高めている。
- (2) ダウン・シフトしたときのエンジン・ブレーキ時は、クラッチ作動油圧、又はライン・プレッシャを通常より高く設定している。
- (3) アップ・シフトの変速時には、変速時のエンジン駆動力に見合ったライン・プレッシャ特性を設定してショックを低減している。
- (4) ATF の温度が低温及び高温の場合のライン・プレッシャは、ATF が粘性変化を起こさない特性をもっているため通常時の制御が行われる。